

防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI

イランの地域防災力向上に向けて

●BOKOMIをイランで紹介

阪神・淡路大震災の教訓から結成された神戸市の自主防災組織「防災福祉コミュニティ（BOKOMI）」の世界発信事業の一環で7月4日から10日までの計7日イランへ出張してきました。

今回の出張は、①イラン内務省でのセミナーで、BOKOMIについての発表 ②JICA 国別研修「イラン消防運用体制」詳細計画策定調査 ③イラン消防運用体制に係る情報共有。以上3つの目的で、イランへ調査団として向かいました。



●カラジ市消防本部・消防署視察

イランの首都テヘランでのセミナー発表が終わり、翌日からはイランの消防体制の調査、「消防運用体制」詳細計画策定調査のため、内務省との協議、カラジ市消防署の



視察等を実施しました。

カラジ消防本部の視察では、女性消防士の話を聞く機会をいただきました。宗教上の理由から、女性だけの部隊の当務日があること、現場活動では、男性と同じく油圧式救助機材等の重量のある資機材も使用すること等の話を伺いました。



●今回の調査報告として

セミナーでイランの方にもお伝えしましたが、大規模な災害対応能力の強化ポイントとして、消防等公助の能力向上はもちろんのことですが、一般市民の方の災害対応能力や防災意識の向上、すなわち自助、共助の強化が必要不可欠です。大規模災害への対応能力の重点項目の一つ「市民防災、地域防災の向上」については日本と、イランを含むその他災害多発国や地域においても協力すべき重点項目の一つであると考えます。

今後も国内はもちろん、他国の地域防災力の向上に少しでもお役に立てるよう、関係各位、地域の皆さまのご協力を受けながら進んでいきたいと思えます。

(予防課 手塚 寛)